



2019年9月25日

各位

会社名 株式会社 日本取引所グループ
 代表者名 取締役兼代表執行役グループCEO 清田 瞭
 (コード 8697 東証第一部)
 問合せ先 広報・IR部長 宮司 和幸
 (TEL (03)3666-1361)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年4月26日に開示しました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の通期連結業績予想及び1株当たり配当予想について、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	営業収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり当期 利益
前回発表予想(A)	百万円 122,000	百万円 66,000	百万円 66,500	百万円 46,400	百万円 46,000	円 銭 85.88
今回修正予想(B)	117,000	60,000	60,500	42,400	42,000	78.44
増減額(B-A)	△5,000	△6,000	△6,000	△4,000	△4,000	
増減率(%)	△4.1%	△9.1%	△9.0%	△8.6%	△8.7%	
(参考)前期連結実績 (2019年3月期)	121,134	69,535	70,786	49,533	49,057	91.58

2. 修正の理由

当社は、2019年4月26日に開示しました「2019年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」(以下、「前回開示資料」といいます。)に記載した連結業績予想数値の前提となる通期の1日平均の売買代金・取引高について、最近の市況動向を踏まえ、株券等(※1)を2兆8,000億円(前回開示資料比5,000億円減)、長期国債先物取引を40,000単位(同7,000単位増)、TOPIX先物取引を107,000単位(同1,000単位減)、日経平均株価先物取引(※2)を201,000単位(同14,000単位減)、日経平均株価指数オプション取引(※3)を230億円(同35億円減)に見直すこととし、上記のとおり、通期連結業績予想を修正いたします。

なお、本日開示しました「株式会社東京商品取引所株式に対する公開買付けの結果及び子会社等の異動に関するお知らせ」のとおり、当社は2019年10月1日付けで株式会社東京商品取引所を連結子会社とする予定です。その結果、2020年3月期第3四半期以降の同社業績を当社連結業績に計上するため、本予想値にも反映しておりますが、その影響は軽微であります。

※1 東証市場第一部・第二部、マザーズ、JASDAQ及びTOKYO PRO Market並びにETF、ETN及びREIT等に係る売買代金(立会内外含みます。)

※2 日経225mini先物取引高は日経平均株価先物取引における取引高へ換算しております。

※3 Weeklyオプション分を除きます。

3. 配当予想の修正について

当社は、金融商品取引所グループとしての財務の健全性、清算機関としてのリスクへの備え、当社市場の競争力強化に向けた投資機会等を踏まえた内部留保の重要性に留意しつつ、業績に応じた配当を実施することを基本とし、具体的には、配当性向を60%程度とすることを目標としております。

上記方針のもと、2020年3月期の1株当たり配当予想について、今回の連結業績予想の修正により親会社の所有者に帰属する当期利益の減額が見込まれることから、以下のとおり修正いたします。

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	26.00	26.00	52.00
今 回 修 正 予 想	24.00	24.00	48.00
前 期 実 績 (2019年3月期)	27.00	43.00	70.00

(注) 2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 28円、特別配当 15円

ご注意：本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上